

# 生涯を通じて 世界トップクラスの歯科医の挑戦 自分の歯で食べられる 歯科医療を 目指して

通院する子供の八割以上が二十歳まで永久歯に虫歯が一本もできない。八十代、九十代になっても二十本以上の歯が残っている。十万人都市の住民の二割以上が定期的に通う。これらは皆、山形県酒田市にある日吉歯科診療所の実績だ。「生涯を通じて自分の歯で食べられる」を命題に、世界屈指の歯科医療を提供してきた熊谷崇氏の三十五年間の歩みは、まさに「遠きを慮る」というテーマそのものである。



〈ほがしいたかし〉—昭和17年東京生まれ。43年日本大学歯学部卒業。46年神奈川県横浜市で歯科医院を開業。55年山形県酒田市に移転開業。平成11年スウェーデンのマルメ大学より名誉学位授与。18年日本大学歯学部客員教授。予防中心の歯科医療を展開し、世界屈指の実績を誇る診療所へと育て上げる。

## 歯科医とは 患者の人生を診る仕事

先ほどは熊谷先生自ら診療所内を案内していただき、ありがとうございました。

熊谷 こういう田舎の町にこれだけ大きな歯科医院があって驚かれたでしょう？ 現在、スタッフは五十名、二階建ての本館と小児棟を合わせて二十七台の診療台があり、すべて個室になっています。なぜかという点、一つはプライ

バシーの保護です。会話が筒抜けにならない。もう一つは滅菌消毒の維持管理。治療に使われる器具は専用の部屋で洗浄し、滅菌消毒するのですが、例えば治療で歯を削ると十畳四方に飛散するといわれています。だから、一列に並んだ診療室は感染のリスクが高い。アメリカやスウェーデンなど、海外の歯科医療先進国ではこれは当たり前なんですけど、日本ではまだまだ少ないですね。

— その中で、日吉歯科診療所は

熊谷 歯科医療というのは、いまその時だけ痛みを取り除けばいいとか、食べられればいいのではありません。口腔疾患のリスクを管理することは全身疾患のリスクを管理することへも繋がります。人々の全身健康へ寄与します。そして、自分の歯で食べ、不自由なく生活ができ、自然の美しさを維持する。それが何よりの目的です。

自分の口の中に何本詰め物があるのか、それはいつ、どこかの歯医者で詰めたのか。それすらも分からないという患者さんが多い。歯科医にすべてお任せの診療が行われていて、情報が閉ざされてしまっているんです。

患者さん自身が自分の歯の状態を知り、考えること。その意識を芽生えさせないことには、根本的な治療には至らないんですね。

熊谷 そうです。なので、日吉歯科では初診の患者さんに対して三

オフィルムと呼ばれる細菌の集合

体による感染症です。このバイオフィルムは日常の歯磨きでは取れません。ですから、歯科衛生士によるメンテナンスでこれを破壊しないと虫歯や歯周病を引き起こしてしまいます。

— メンテナンスが大事だと。

熊谷 例えば、エレベーターにしても自動車にしてもメンテナンスは欠かせませんよね。ところが、日本人の口腔の健康に対する関心や知識があまりにも低いのが現状です。有識者、経済的に豊かな人ですら口腔の健康が守られていません。そして、歯科医療従事者に至っても、定期的なメンテナンスを受けていない人が多いんです。

また、ほとんどの歯科医は治療したらそれで終わり。悪くなったらまたいらっしやいというのが通例です。患者さんが見えるのすぐドリルで削って詰めて、場合によっては神経を取って銀歯を被せる。削って詰める治療の効果は一過性であり、繰り返すことで複雑かつ高額な治療になります。そして、歯の寿命は短くなり、「死への螺旋階段」を進んでしまう。予防よりも治療主体であった歯科医療には

もはや限界があるんです。

親不知歯を除いて二十八本ある永久歯のうち、現在、八十歳以上の人の残っている歯の全国平均は十一本ですが、酒田市には八十代、九十代になっても二十本以上残っている人がたくさんいるんです。

— それも驚異的ですね。

熊谷 やればいけるんですけど人たちはやっぱすぐ不自由していてもっと口腔ケアをしていればよかった、もっといい歯医者にかかっていればよかったと後悔している。だから、患者さんの生涯を真剣に考え、ずっと寄り添って口腔の健康度を高めるサポートをすることが大事だと思っています。歯科医とは患者さんの人生を診る仕事なんです。

## いかなる時も 買ってきたプロの流儀

実際、どのような治療をされているのでしょうか。

熊谷 初診の患者さんのほぼ全員が何かしら歯の痛みや不具合を感じて、足を運ばれます。歯医者には痛くなったら行く、というのが一般的な感覚でしょう。当然、患者さんは早く完治させてほしいと

## 特集 遠慮—遠きを慮る

世界トップクラスの実績を挙げられていると伺っています。

熊谷 私たちの理念は「生涯を通じて自分の歯で食べられる歯科医療を提供する」「酒田市民の口腔内の健康状態を世界一にする」ことです。日吉歯科には一日二百人以上の患者さんが来ます。開業以来、私はすべての患者さんのカルテを保存しています。その数は約二万七千件。山形県酒田市の人口は十万人ですから、二十七割の人たちが一度は訪れているんですね。

そのうち定期的にメンテナンスに来ている人は一万五千人くらいで、そういう人たちの口腔の健康度は極めて高い。乳幼児から定期的に通っている二十歳までの子供たちの実に八十七割はカリエスフリー（虫歯ゼロ）なんです。

— 八十七割も！

熊谷 これは世界的に見ても非常に高い数字です。最も重要なのは質の高いメンテナンスと食後、就寝前のホームケアです。子供の時からお年寄りになるまで、ずっとメンテナンスをしてホームケアをしていたら、虫歯や歯周病はほとんど起こりません。

そもそも虫歯というのは、バイ